

2022年度業務実績報告書

提出日 2023年1月19日

1. 職名・氏名 准教授 渡慶次 力

2. 学位 学位 博士(理学)、専門分野 水産海洋学、授与機関 九州大学、授与年 2005年

3. 教育活動

(1)講義・演習・実験・実習	
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 漁業制度論（2単位、毎年開講）3年次 15コマ	
②内容・ねらい 漁業制度を理解し、内容を説明できる素養を身につけることを目的とした。日本の漁業制度を形作っている漁業権、許可漁業その他の諸制度について、主として漁業法の規定、運用に即して、その内容、特色等、新たに施行されることとなった改正漁業法の内容を併せて説明した。	
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 講義では、学生に対してGCにて1コマ当たり3つ程度の質問をし、回答の集計結果をその場で共有することで、学生全員が参加できる双方型の講義を心がけた。1コマ毎に講義のまとめをノートにまとめ、講義の最後には小テストを課すことで、講義内容の定着を図った。	
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 海洋生物資源情報論（1単位、毎年開講）3年次 8コマ	
②内容・ねらい 海洋生物資源に関する情報論を理解し、内容を説明できる素養を身につけることを目的とした。漁業情報で重要な漁海況予報の経緯・現状、国が推進しているスマート水産業の資源評価・管理や水産業の成長産業化に果たしている役割を説明した。	
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 講義では、学生に対してGCにて1コマ当たり3つ程度の質問をし、回答の集計結果をその場で共有することで、学生全員が参加できる双方型の講義を心がけた。1コマ毎に講義のまとめをノートにまとめ、講義の最後には小テストを課すことで、講義内容の定着を図った。	
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 食品流通論（2単位、毎年開講）2年次 7コマ（オムニバス）	
②内容・ねらい 食品流通を理解し、内容を説明できる素養を身につけることを目的とした。食品流通に携わる組織、食品価格の形成、食料貿易に関する事情、主要食品のそれぞれの特性に応じた流通の特色を説明した。	
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 講義では、学生に対してGCにて1コマ当たり3つ程度の質問をし、回答の集計結果をその場で共有することで、学生全員が参加できる双方型の講義を心がけた。1コマ毎に講義のまとめをノートにまとめ、講義の最後には小テストを課すことで、講義内容の定着を図った。	
①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等 基礎演習（1単位、毎年開講）3年次 15コマ	
②内容・ねらい 卒論テーマに関係する論文を講読し、その概要をスライドにまとめて口頭で発表し、その質疑応答を通じて、各研究分野における研究課題や研究手法に関する理解を深めた。	
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫	

演習では、できるだけ学生同士でディスカッションすることで、研究に必要な議論する力を身につけてもらうよう意識した。

①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等
専攻演習（2単位、毎年開講）4年次 通年

②内容・ねらい

卒業研究と関連する文献を講読し、その概要をスライドにまとめて口頭で発表し、その質疑応答を通じて、各研究分野における研究課題や研究手法に関する理解を深めた。

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫

演習では、できるだけ学生同士でディスカッションすることで、研究に必要な議論する力を身につけてもらうよう意識した。

①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等
卒業論文（8単位、毎年開講）4年次 通年

②内容・ねらい

3名の学生を指導し、研究成果を卒業論文発表会で口頭発表できるスライドや卒業論文の取りまとめに関する指導をした。

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫

毎週1回は、研究に進捗状況を確認し、助言を行うとともに、随時、具体的な解析方法や取りまとめる方法などを指導した。

①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等
海洋生物資源学フィールド演習（2単位、毎年開講）1年次 30コマ（主担当）

②内容・ねらい

大学での学習に必要なスキルを身につけ、講義や施設見学などを通じて海洋生物資源学部における学習内容とその意義を考える。各自で課題研究に取り組む。

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫

先端増養殖科学科で実施する初めての演習であったことから、特任講師による講話や漁業実習など体験を通して深く学べるように実施し、学生アンケートを通して、よりよい実習になるように心がけた。

①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等
海と暮らし（2単位、毎年開講）1・2・3年次 1コマ（オムニバス）

②内容・ねらい

海を利用して生きる人々の暮らしにどのような影響を与えている事を、「海の生業・水産業」の視点から説明した。

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫

講義では、学生に対してGCにて質問をし、回答の集計結果をその場で共有することで、学生全員が参加できる双方型の講義を心がけた。

①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等
食品流通調査演習（1単位、毎年開講）1・2・3年次 4コマ（オムニバス）

②内容・ねらい

調査により現場を体感し、食品流通の実態を理解することを目的とした。福井中央卸売市場と越前町漁協を訪問し、担当者からの聞き取りや資料の収集を行い、その調査結果をレポートにまとめさせた。

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫

調査により現場を体感し、レポートにまとめる事で、食品流通の実態を理解するようにした。

①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等
海洋社会学（2単位、毎年開講）大学院1・2年次 7コマ（オムニバス）

②内容・ねらい
漁業は、重要な食料産業で、近年の漁業を取り巻く国際的な環境が大きく変化していることを学ぶ事を目的とし、日本の漁業と漁村、食料産業を取り巻く状況を社会科学的に考察するようにした。

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫
スマート水産業をキーワードにした講義を行い、講義内容を踏まえた水産業の今後の在り方をレポートで考察してもらい、課題解決に繋がるような講義となるよう心がけた。

①担当科目名（単位数） 主たる配当年次等
海洋社会学（2単位、隔年開講）大学院1・2年次 8コマ

②内容・ねらい
日本をとりまく海上輸送、利用可能な海洋資源の状況など海洋ビジネスの概要を学べるような講義を行う。

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫
海洋ビジネスをキーワードにした講義を行い、講義内容を踏まえた海洋ビジネスの今後の在り方をレポートで考察してもらい、課題解決に繋がるような講義となるよう心がけた。

(2)その他の教育活動

4. 研究業績

(1)研究業績の公表	
①著書	
* <u>渡慶次力</u> ・山田和也, 浮魚礁の海況・気象情報, 海の天気図, 海洋レーダー, 「スマート水産業入門」和田雅昭編著, 緑書房, pp.18-19,28-29,50-51, 2022.3.	【1本】
②学術論文 (査読あり)	【0本】
③その他論文 (査読なし)	
* <u>渡慶次力</u> ・山田和也・清水勇吾, 荒天時でも可能な海洋観測, 水産海洋研究, 86(3), 2022.8.	【1本】
④学会発表等	
* <u>渡慶次力</u> , スマート水産業による地域貢献～宮崎県で取り組んだ研究・事業を事例に～, みえスマート水産業研究会ミニシンポジウム, 2022.1.13, 伊勢市 (三重県伊勢庁舎・遠隔) (口頭発表)	
* <u>渡慶次力</u> , モデルデータの水産現場での利用促進, 水産海洋学会地域研究集会「第4回海と漁業と生態系に関する研究集会」, 2022.2.26, 遠隔 (口頭発表)	
* <u>渡慶次力</u> , 情報科学で読み解く増養殖・人材育成・マーケティング, ジャパンインターナショナルフーズ・ショウ・福井県立大学研究発表会, 2022.8.24, 東京 (東京ビックサイト), (口頭発表)	
* <u>渡慶次力</u> , 多様なステークホルダーが持つ研究ニーズ把握手法の検討, 瀬戸内海水産環境研究集会, 2022.9.2, 松山市 (愛媛大学) (口頭発表)	
* <u>渡慶次力</u> ・古俣大地・仲野大地, トラフグ養殖の技術習得に向けたVR教材の開発, 令和4年度日本水産学会秋季大会, 2022.9.6, 宮崎市 (フィニクス・シーガイヤ・リゾート・コンベンションセンター) (ポスター発表)	
岡山充希・水野大祐・前田天童・長谷川達人・仲野大地・ <u>渡慶次力</u> , スマートフォンを用いた単色背景環境における魚体の精密測定の実用化, 令和4年度日本水産学会秋季大会, 2022.9.5, 宮崎市 (フィニクス・シーガイヤ・リゾート・コンベンションセンター) (口頭発表)	
森亮輔・澤木亮・ <u>渡慶次力</u> ・前川龍之介・河野展久, 若狭湾におけるズワイガニ漁獲の時空間変動特性, 2022 水産海洋学会創立60周年記念大会, 2022.11.4, 横浜市 (水産研究・教育機構横浜庁舎), (口頭発表)	
* <u>渡慶次力</u> , 漁船情報(操業日誌)を利用したズワイガニ研究の紹介, スマート沿岸漁業ネットワーク総会, 2022.12.1, 春日市 (九州大学) (口頭発表)	
* <u>渡慶次力</u> , 福井県ズワイガニ資源の有効活用に向けた意思決定ツールの開発, 九州大学応用力学研究所共同利用研究, 2022.12.5, 春日市 (九州大学) (口頭発表)	
* <u>渡慶次力</u> , 多様なステークホルダーが持つ研究ニーズ把握手法の検討, 水産海洋学会地域研究集会「2022年度九州沖縄地区合同シンポジウム」, 2022.12.8, 鹿児島市 (鹿児島大学) (口頭発表)	【10件】
⑤その他の公表実績	【0本】
(2)科研費等の競争的資金獲得実績	
【学外】	
科研費基盤研究 (C) 一般「日本海における沿岸資源漁獲量の長期的な時空間変動の特性と海洋環境との関係解明 (研究代表者)」	
1,300 千円 (2022 年度)	
ORNIS 株式会社共同研究「海洋レーダー情報の海洋産業への利活用に関する研究 (研究代表)	

<p>者)」 2,376 千円 (2022～2023 年度) 高浜町水産振興協議会共同研究「ブランド価値創出のための地域創意の抽出に関する研究 (研究代表者)」 473 千円 (2022 年度) 九州大学応用力学研究所 2022 年度共同利用研究共同利用・共同研究「若狭湾における定置網漁業及び底曳網漁業の漁場環境に関する研究 (研究代表者)」 213 千円 愛媛大学化学汚染・沿岸環境研究拠点 2022 年度共同利用・共同研究「瀬戸内海水産環境研究集会 (研究代表者)」 200 千円</p> <p>【学内】 戦略的課題研究推進支援「福井県ズワイガニ資源の有効活用に向けた意思決定ツールの開発 (研究代表者)」 803 千円 (2022 年度) 戦略的課題研究推進支援「水産発酵食品のプレバイオティクス応用と健康評価 (分担者)」 300 千円 (2022 年度)</p>
(3)特許等取得
(4)学会活動等
理事 (一般社団法人水産海洋学会) 2022.4～現在に至る 評議員 (一般社団法人水産海洋学会) 2022.4～現在に至る

5. 地域・社会貢献活動

<p>①国・地方公共団体等の委員会・審議会 水産分野におけるデータ利活用のための環境整備に係る有識者協議会 (水産庁), 委員, 2022.4～2023.3 水産業のスマート化推進支援事業選定委員会 (水産庁), 委員, 2022.4～2023.3 福井県嶺北地域水産振興協議会 (三井不動産株式会社), 構成員, 2022.4～2023.3</p> <p>②国・地方公共団体等の調査受託等 共同研究「日向灘における中型まき網漁場の形成要因の解明 (宮崎県水産試験場)」, 研究代表者, 2022.4～2023.3</p> <p>③公開講座、オープンカレッジ、社会人・高校生向けの講座の開講 スマート水産業による地域貢献～宮崎県で取り組んだ研究・事業を事例に～, 京都府立海洋高等学校, zoom, 2022.2.24 養殖技術の習得に向けた VR 教材の開発, 北陸未来共創フォーラム第 1 回水産 WG 見学会・交流会, 小浜市 (御食国若狭おばま食文化館), 2022.4.14 水産物のマーケティング, 第 1 回福井県嶺北地域水産振興協議会, 福井市 (水産会館), 2022.5.24 先端増養殖科学科の紹介, 若狭地域産学官水産連絡会議幹事会, 小浜市 (福井県立大学小浜キャンパス), 2022.6.20 ステークホルダーヒアリング分析と今後の方向性の検討, 福井県嶺北地域水産振興協議会第 1 回販売促進検討部会, 福井市 (水産会館), 2022.8.5 養殖業の VR 体験, 海と日本プロジェクト～さばける塾, 小浜市 (御食国若狭おばま食文化館), 2022.9.23 増養殖と情報科学, 福井県立大学公開講座, zoom, 2022.10.24</p>

<p>カキの新ブランドの創出戦略のコメンテーター，先端増養殖科学科主催セミナー，小浜市（福井県立大学小浜キャンパス），2022.10.28</p> <p>データマイニングで紐解く水産食品，福井県立大学公開講座，zoom，2022.11.30</p> <p>養殖業のVR体験，ふくい農林水産まるごとフェスタ，福井市（県産業会館），2022.11.12</p> <p>④その他</p>

6. 大学運営への参画

(1)補職
(2)委員会・チーム活動
<p>【全学委員会】</p> <p>デジタル推進委員会 2022.4～現在に至る</p> <p>学生支援委員会・障害学生支援部会 2022.4～現在に至る</p> <p>【学部委員会】</p> <p>Ocean'sX、TOEIC 担当 2022.4～現在に至る</p> <p>FPU・広報・学部 HP 担当 2022.4～現在に至る</p> <p>【学科委員会】</p> <p>1年生の副担人 2022.4～現在に至る</p> <p>初年次教育担当 2022.4～現在に至る</p> <p>学科予算担当 2022.4～現在に至る</p> <p>学科備品更新配分担当 2022.4～現在に至る</p>
(3)学内行事への参加
先端増養殖科学科の紹介，夢ナビライブ 2022 in Summer，zoom，2022.7.9
(4)その他、自発的活動など